

「自然と水と緑」の多目的河川公園

長木川市民ひろば新設事業



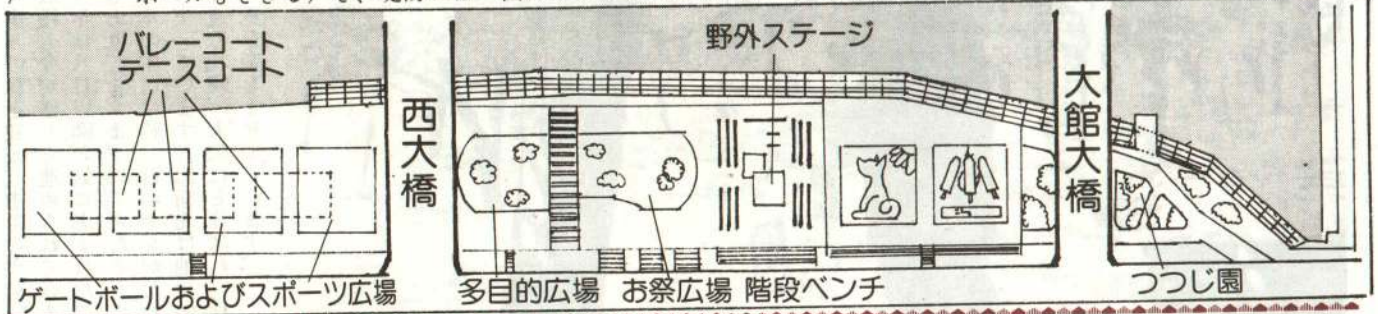
今年3月完成した「秋田犬、キク、曲げわっぱ、きりたんぽ」をデザイン化したシンボル花壇。

58年度事業↓

長木川市民ひろば新設事業は、市の中心部を流れる長木川河川敷を利用し、治水などの機能に十分配慮しながら「公園的都市緑地」として、レクリエーション、スポーツ、屋外文化活動、市民の憩いの場となる多目的河川公園を作ろうとするものです。事業の全体計画は、長木川の花輪線鉄橋から下町橋上流三百八十メートル地点までの約二・七キロメートル（十九ヘクタール）の両岸を三区域に分けておよそ三十六の施設が設けられます。このほか、管理棟、更衣室、トイレ、駐車場などは河川敷内に建設することができないため、堤防の外側に建設予定です。

市民ひろばの全体完成には、多額の事業費が見込まれていますが、その財源としては五十七年度から五十九年度までは通産省からの工業再配置促進費補助金を受けて、その後は各種助成制度を活用して完成させる予定です。今号では同事業の全体基本計画についてお知らせします。

今年度事業としては、「いきいきコミュニケーション区」と「はつらつ健康区」の一部25,000㎡の敷地に、通産省からの補助を受けて工事費 9,430万円で4つの施設が建設されます。建設される施設は、1万本つつじ園、野外ステージ、お祭り広場、ゲートボールコート4面（テニス、バレーボールもできる）で、堤防には一面にシバザクラが植栽され、来年3月には完成の予定です。



市長の対話ノート

公益と私益



No. 76

国道一〇三号バイパスが、地権者のご理解と建設省の特段のご配慮により、市道麗西線もまた、地権者の並々ならぬご協力で、十年を越す事業の結果、それぞれ九月二十八日と十月四日竣工の運びとなりました。関係者の方々に深く感謝を申し上げます。市民と共に喜びをわかちあいたいと存じます。

東北高速自動車道も、十月二十日には八幡平インターまで開通し、来年秋には一〇三号バイパスに直結する十和田インターまで開通、六十一年には全線開通の予定となっています。従いまして当市の外環状線もこの開通時期に合わせて、一部を残してもぜひ整備を急がなければ、あらたな交通渋滞を起すことになりかねません。

必要最小限の道路整備を急ぐことに疑問をもつ方は一人もおりません。ところが、路線決定という具体的な問題になりますとそうはいきません。先祖代々の土地であり、生活の土台である土地を失うことからすれば当然でありましょう。

そこで「公益」の犠牲にならない「私益」の確保を求めて、さまざまな角度から相談をさせていただいていますが、それが思うように進まないのが現状です。二つの立派な道路の完成にあたり、あらためてこの問題を提起させていただきます。

留山健治郎